



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社よみうりランド

上場取引所 東

コード番号 9671 URL <http://www.yomiuriland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,117	18.0	878	116.0	990	90.7	584	72.6
24年3月期第1四半期	3,488	△8.5	406	△31.6	519	△27.1	338	△24.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 127百万円(△35.3%) 24年3月期第1四半期 196百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	7	48	—	—
24年3月期第1四半期	4	29	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	52,021		18,755		36.1	
24年3月期	53,524		18,974		35.4	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 18,755百万円 24年3月期 18,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,349	6.5	1,314	6.4	1,413	5.8	782	1.4	9	98
通期	16,183	4.4	2,246	11.9	2,565	18.5	1,309	4.5	16	71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	83,522,024株	24年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	5,719,463株	24年3月期	5,118,423株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	78,092,996株	24年3月期1Q	78,990,228株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかな回復傾向が続きました。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費も、緩やかに増加いたしました。しかし、物価全体は依然としてデフレ状況にあり、厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は他施設との差別化を図っていくための独自の企画や、顧客満足度の一層の向上に努めて参りました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同期比1日増の15日開催されました。6月には重賞「関東オークス」が行われました。また、前年12月から開始されたJRAの場外発売「ウインズ川崎」には多くのファンが訪れ、活況を呈しました。施設面では、11月に開催予定のダート競馬の祭典「JBC競走」に向けて場内整備を行いました。船橋競馬は、震災の影響により前年4月の開催が中止となったため、前年同期比5日増となる15日開催されました。5月のビッグレース「かしわ記念」開催日に、近隣商業施設とコラボレーションしたイベント「おうまフェス2012～親子であそぼ。～」を主催し、賑わいを見せました。船橋オートレースは、震災の影響により前年4月の開催が中止となったため、前年同期比4日増となる16日開催されました。5月には恒例のGI「黒潮杯」が行われました。なお、小型自動車競走法の一部改正に伴い、6月の本場開催よりの中車券の払戻率が75%から70%となりました。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同期比1日減の90日実施されました。また、女性による競輪「ガールズ競輪」の開催に先立ち、女子選手のトークショーを開催し好評を博しました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬は2日増、船橋競馬は6日増、船橋オートレースは5日増の予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、外部営業に積極的に取り組み、新規コンペや、震災の影響で中止となったコンペを再び獲得するなどした結果、入場者は増加いたしました。よみうりゴルフ倶楽部は、ウィークリーコンペや団体別大会、ハーフコンペなど、特色のある自主コンペを開催するなどして集客の強化をしたことで、入場者は増加いたしました。また、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携した恒例のディナーイベントを実施し好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、新東名高速道路開通を記念し、ネット予約によるスペシャルプランを実施するなどした結果、入場者は増加いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、来場者へのスクラッチカード配布イベントや、集客が困難な日にタイムリーな料金施策を実施するなどしたものの、雨天日の増加や台風の影響などにより、入場者は減少いたしました。

遊園地部門の遊園地は、春に桜をテーマにしたイベント「SAKURAKUEN」を開催いたしました。著名な華道家、假屋崎省吾氏の制作・指揮によるオブジェが好評を博しました。ゴールデンウィークの「全国ご当地グルメ祭2012」では、各地のグルメを集めるとともに、情報誌と連携したスイーツイベントを開催し、多くのお客様で賑わいました。この結果、遊園地の入場者は増加いたしました。なお、初夏には恒例のほたる鑑賞イベント「ほたるの宵」を実施いたしました。新たな趣向として、著名人が寄せたメッセージを仕立てた灯ろうなどで会場内を演出いたしました。温浴施設「丘の湯」は、本年3月の丘の湯の改修や丘の湯プラザのリニューアルが好評を得て、入場者は増加いたしました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、様々なイベントを実施したものの、入場者は減少いたしました。ゴルフガーデン(練習場)は、定休日である火曜日にも営業したことや、打ち放題イベントが好評だったことなどにより、入場者は増加いたしました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は35億9千7百万円(前年同期比21.2%増)となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が減少したことなどにより、3億5千6百万円（同0.3%減）、サポートサービス事業の売上高は、連結内部から新たな業務を受託したことなどに伴い、6億3千1百万円（同31.0%増）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は41億1千7百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は8億7千8百万円（同116.0%増）、経常利益は9億9千万円（同90.7%増）、四半期純利益は5億8千4百万円（同72.6%増）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、おおむね当初の計画通りに業績が推移するものと見込んでいるため、平成24年5月9日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,166,089	5,290,504
受取手形及び売掛金	972,071	1,195,415
たな卸資産	224,162	238,124
繰延税金資産	144,532	98,200
その他	123,127	147,605
貸倒引当金	△378	△384
流動資産合計	7,629,603	6,969,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,022,190	17,771,947
土地	17,884,790	17,884,947
建設仮勘定	274,248	335,090
その他(純額)	765,185	825,472
有形固定資産合計	36,946,414	36,817,458
無形固定資産		
その他	83,883	91,569
無形固定資産合計	83,883	91,569
投資その他の資産		
投資有価証券	8,052,910	7,349,405
繰延税金資産	575,909	572,810
その他	235,873	220,428
投資その他の資産合計	8,864,693	8,142,644
固定資産合計	45,894,991	45,051,672
資産合計	53,524,595	52,021,138
負債の部		
流動負債		
営業未払金	408,874	301,903
短期借入金	3,065,000	3,065,000
1年内返済予定の長期借入金	1,526,800	1,526,800
未払法人税等	462,602	325,286
賞与引当金	116,552	28,371
その他	1,943,393	1,614,174
流動負債合計	7,523,223	6,861,535
固定負債		
長期借入金	1,758,800	1,377,100
繰延税金負債	997,422	745,193
退職給付引当金	591,924	602,155
役員退職慰労引当金	103,266	99,188
長期預り金	23,293,589	23,245,965
その他	282,266	334,482
固定負債合計	27,027,269	26,404,086
負債合計	34,550,493	33,265,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,578	4,730,578
利益剰余金	8,478,373	8,866,528
自己株式	△1,760,018	△1,909,685
株主資本合計	17,501,964	17,740,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472,137	1,015,063
その他の包括利益累計額合計	1,472,137	1,015,063
純資産合計	18,974,101	18,755,516
負債純資産合計	53,524,595	52,021,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,488,766	4,117,203
売上原価	2,681,349	2,812,353
売上総利益	807,416	1,304,849
販売費及び一般管理費	400,658	426,208
営業利益	406,758	878,641
営業外収益		
受取利息	67	25
受取配当金	117,631	117,555
その他	16,401	11,509
営業外収益合計	134,100	129,090
営業外費用		
支払利息	21,321	16,544
その他	4	320
営業外費用合計	21,326	16,864
経常利益	519,532	990,867
特別損失		
固定資産除却損	10,320	63,904
特別損失合計	10,320	63,904
税金等調整前四半期純利益	509,211	926,962
法人税、住民税及び事業税	84,870	299,164
法人税等調整額	85,865	43,634
法人税等合計	170,735	342,798
少数株主損益調整前四半期純利益	338,476	584,164
四半期純利益	338,476	584,164

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	338,476	584,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141,935	△457,073
その他の包括利益合計	△141,935	△457,073
四半期包括利益	196,540	127,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,540	127,091
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,964,484	357,415	166,866	3,488,766	—	3,488,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,008	450	315,221	318,679	△318,679	—
計	2,967,492	357,865	482,087	3,807,445	△318,679	3,488,766
セグメント利益	528,663	204,848	36,533	770,044	△363,286	406,758

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,286千円には、セグメント間取引消去1,121千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△364,408千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,594,132	356,249	166,822	4,117,203	—	4,117,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,027	690	464,659	468,376	△468,376	—
計	3,597,159	356,939	631,481	4,585,580	△468,376	4,117,203
セグメント利益	999,737	208,057	54,989	1,262,783	△384,142	878,641

(注) 1. セグメント利益の調整額△384,142千円には、セグメント間取引消去△808千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△383,333千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。